

開館3周年記念特別展覧会

よみがえる

漢王朝

—2000年の時をこえて—

HAN DYNASTY

S P E C I A L E X H I B I T I O N

1999 10/7_日—11/28_日
山口県立萩美術館・浦上記念館

開館時間 ◆ 9:00—17:00 (入館は16:30まで) ※最終日は、15:00 (入館は14:30) までとなります。

休館日 ◆ 月曜日と10月12日(火) [ただし、10月11日(月・振休)と11月22日(月)は開館]

観覧料 ◆ 一般1000円(800円) 学生800円(600円)

※ () 内は20名以上の団体料金 18歳以下の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在学する生徒は無料。

教育・文化週間(11月1日~7日)中の開館日は、一般、学生ともに無料です。

主催/山口県立萩美術館・浦上記念館 中国社会科学院考古研究所 奈良国立文化財研究所 読売新聞西部本社 KRY山口放送

後援/外務省 文化庁 中国大使館 萩市 FBS福岡放送

協賛/同和火災海上保険 三洋電機 コクヨ レンゴー 非破壊検査 大阪芸術大学

協力/日本航空

HAN DYNASTY SPECIAL EXHIBITION

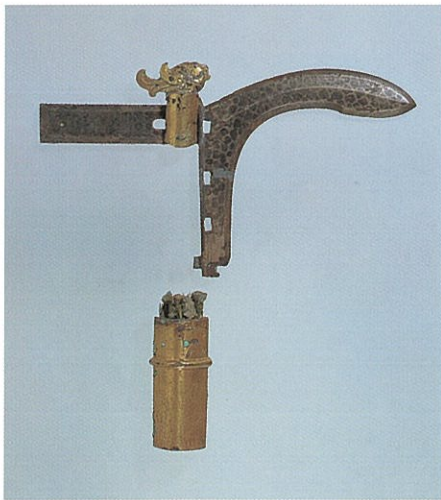
約2000年前、アジア最大の帝国として君臨した「漢」。

農民出身の劉邦が楚の項羽を倒し、秦帝国滅亡後の世を治め、栄光の時代は始まりました。皇帝を柱とした中央集権国家は、日本の弥生時代にほぼ相当する約400年間続き、7代皇帝・武帝の時にシルクロードが開かれるなど最盛期を迎えます。「後漢」期にはわが国が「漢委奴国王」金印を受けたことでもよく知られています。

本展覧会は、1997年から、奈良国立文化財研究所が北京の中国社会科学院考古研究所と共同で西安・漢代長安城跡（前漢の都）の発掘調査に着手したのを機に企画されました。長安城創建期の瓦や様々な表情の陶俑、後漢の都・洛陽出土の銅鏡など中国各地の文物97件で構成。とくに、河北省満城県にある武帝の異母兄、中山王劉勝とその妻の墓「満城漢墓」出土の銅器や武器類、王妃の金縷玉衣（きんるぎょくい）など華麗な遺品は、王朝の栄華そのもので、見る人の目と心を奪う輝きを放っています。「漢字」をはじめ、わが国の歴史と文化に大きな影響を与えた、悠久の時代へのひとときの旅をお楽しみ下さい。



青銅鍍金銀蟠龍文鍾 河北省満城漢墓出土



青銅戈、青銅鍍金欽 河北省満城漢墓出土



青銅「位至三公」獸首文鏡 河南省洛陽市漢魏洛陽城東郊出土



青銅金緑松石象嵌朱雀形杯 河北省満城漢墓出土



金縷玉衣、青銅鍍金嵌玉枕 河北省満城漢墓出土



漆銀箔彩画雲氣文七子卷 江蘇省揚州市胡場1号漢墓出土



- 記念講演会 聴講無料
「漢と弥生」 10月10日(日・祝) 10:30~12:00
講師:金開烈氏(大阪府立弥生文化博物館館長) 場所:当館講座室
- 親子ギャラリー・ツアー
10月11日(月・振休)、11月3日(水・祝)、11月23日(火・祝) いずれも15:00~16:00
募集人数/15組(受付先着順)
※参加ご希望の方は、参加希望日と参加者全員の氏名、住所、電話番号を明記のうえ、往復はがきにて、各実施日の7日前までにお申し込みください。下記住所の「漢王朝展親子ギャラリー・ツアー」係まで。
- 同時開催
浮世絵展示 雲月花一月一 9月21日(火)~10月24日(日)
歌川派の役者絵 10月26日(火)~11月28日(日)
東洋陶磁展示 明器泥象・愛すべき土偶たち(後期) 9月21日(火)~11月28日(日)
- 秋市・イベントガイド
●萩・魚まつり 10月10日(日・祝) 県漁連萩地方卸売市場
●萩時代まつり/萩広域ふるさとまつり 11月13日(土)~14日(日) 萩市内各所



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1
TEL0838-24-2400/FAX0838-24-2401

- 交通アクセス
- JR東萩駅=タクシー10分/徒歩30分
- JR小郡駅=バス70分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 石見空港(島根県益田市)=バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 中国自動車道=小郡I.C. 美術I.C. 各50分